

したところでありますが、豪雨、干ばつ、氷河の溶解等による被害は世界の到る所で発生しておりますし、これらはオーストラリアにおける小麦の凶作に見られるように、食料生産とその国際取引価格にも大きな影響を与えております。

地域格差に負けない 主体的な努力を

こうした中、国は「希望と安心の国づくり」の実現をめざす一方、平成20年度予算におきましては、成長力強化、地域活性化、国民の安心・安全、低炭素社会への転換といった重要な政策課題に取り組み決意を示し、道路特定財源による地方支援、地域を支える産業の再生、安心で質の高い医療の確保などのための必要な経費には、予算を重点的に配分するとしております。

私は市長に就任して以来、地域資源を活かした内発型の産業振興を、まちづくり戦略の主軸に位置付けてまいりました。そして西部地域の農業生産力と東部・臨海部の工業集積との融合をめざした、「水と食」「食と農・水産」をテーマとする産業振興施策の展開に鋭意取り組んでいるところであります。

そして、これらを推進するに当たり、大学や研究機関、キャリア人材が有する「知識・学問」を導入すること、アジアの「ダイナミズム(活力)」を取り込むことが重要になってきております。

これら外部にある「知」や「活力」を導入して、地域に足りないものを補いつつ、地域産業の振興を図り、地域を元気にすることが今日的に求められる戦略的視点であります。ここに「税の力」が発揮され、地域全体の均衡ある発展更には「自己責任」と「自己決定」の原則の確立が可能となり、真の「自立」と「自活」が実現されるものと確信いたします。地域格差をいたずらに嘆くのではなく、天与の豊富な地域資源を活かし、主体的な努力で力強い地域産業を発展させることに全力を傾注すべきであります。

誰もが元気で 幸せに暮らせるために

一方、地域の元気と活力、まちづくりの原動力の源は「人」、何よりも地域住民にあります。

本市におきましても、市民の安心・安全が十分に確保されて、誰もが元気で幸せに暮らせるまちづくりを進めることにより、「人が

つどい、まちが輝く、快適環境実感都市」を実現できるものと考えます。

こうした中、我が国において、国民の安心・安全が脅かされている現状や、海外で発生した危機がリアルタイムで国民生活に影響を及ぼすようになった時代の潮流、更には地球環境が危うくなっている現状に鑑みますと、本市においても市民の安心・安全を確保し、健康を守ることは、まちづくりの最重要課題の一つであり、また、私も行政に課せられた責務であることを、改めて強く認識するのであります。

新年度のキャッチフレーズは 「安心・安全・健康」

そこで、新年度の市政の推進に当たりましては、「安心・安全・健康」をキャッチフレーズに掲げ、市民の「安心・安全」の確保、「健康」の増進をめざした「人づくり」と「しくみづくり」をテーマとしまして、諸施策の展開や課題の解決に、勇気と情熱、そして使命感と長期的な展望をもって、全力をあげて取り組んでまいれる決意であります。

そして引き続き、「都市の自立と活力の喚起」「都市の個性の創

出と創造力の発揮」「都市間の交流と連携の強化」を政策の基本理念としまして、これまで申し上げてまいりました発想を、経営感覚と戦略的思考、積極的な情報発信を活かしながら、果敢に実行してまいります。

忘れてはならない 先人の苦労と努力

その一方で、苦労と努力を重ねて西条市発展の礎を築いてこられた先人の方々に對する感謝の気持ちを忘れることなく、それぞれの地域で受け継がれてきた文化や伝統、地域資源を守り、活かしながら、様々な行政課題に全力をあげて取り組む決意であります。



市議会3月定例会で施政方針について述べる伊藤市長